

■宗叡(禅林寺僧正)

しゅうえい

嵯峨天皇即位 809=

薬子の变・・・810= 1歳 :

真言僧。清和天皇の侍僧として重きを成し、唐から膨大な経論等をもたらした。

山城平安左京に生まれる。父は池上氏。

文華秀麗集・818= 9歳 :

初め大学に学んだが、

最澄没・・・822=13歳 : 比叡山に登り、内供奉載鎮に従って出家、

嵯峨上皇・・・823=14歳 :

経論を学び、

経国集・・・827=18歳 :

興福寺義演から法相を、

延暦寺座主の義真から天台教学を、

・・・831=22歳 :

円珍から金胎两部を学んで、

受戒、続いて菩薩戒をも受けた。

その後、東寺の真言宗教団にうつり、空海門下の実恵から金剛界を受法し、

17遣唐使遭難 836=27歳 :

禅林寺の真紹を師として阿闍梨灌頂を受けた。

承和の変・・・842=33歳 :

・・・845=36歳 :

文徳天皇即位 850=41歳 : *この年誕生した惟仁親王の侍僧となり、

・・・854=45歳 :

人民摂政の実 858=49歳 : 親王が清和天皇として即位後も侍僧で、

鴻臚館設置・862=53歳 : この頃、インドをめざす真如親王とともに入唐。

・・・863=54歳 :

まず沐州の玄慶から金剛界灌頂を受け、五台山を巡礼して天台山に行く。大華嚴(五台山)で千僧供を設け、長安に赴く。青竜寺法全に胎藏界大法灌頂を受け、金剛杵や儀軌を伝えられた。また慈恩寺造玄・興善寺智慧輪にも密教の秘奥を学んだ。次いで洛陽に行き善無畏の旧蹟を巡り、ゆかりの経論・儀軌を伝えた。

・・・865=56歳

長安の西明寺にあって、さまざまな法門の章疏を書写した後、

応天門の変・866=57歳 :

・・・867=58歳

*明州望海鎮から唐商李延孝の船の便を得て、大宰府に戻る。その成果は「書写請来法門等目錄」に盛られており、もたらした経論・儀軌などは、134部143巻を数える。その他の道具とともに、その将来物はすべて東寺経蔵に納められた。権律師から権少僧都に進み、東大寺別当となり、天皇への密法伝授や宮中修法院、持念堂の運営にも当る。

藤原良房没・872=63歳 :

・・・876=67歳 :

東寺二長者、

元慶官田・・・879=70歳 :

後七日御修法を修した。清和の出家の折に、その戒師となり、僧正に任ぜられ、上皇について畿内の諸寺を巡礼し、或いは止雨に効験をあらわした。

基経太政大臣 880=71歳 :

侍僧は清和崩御にいたるまでも続き、

・・・881=72歳 :

基経関白の実 884=75歳 :

禅林寺で、没した。